



令和元年5月7日

柏の芽

5月号

練馬区立中村中学校
校長 大石 光宏

◆自律性を伸ばす ◆実践力を身に付ける ◆連帯感を深める

開校73年目の本校の取組

校長 大石光宏

今年の5月の連休は、令和元年となる「新天皇即位」の関係で、4月末より10連休となりました。そして、5月1日は「天皇即位の日」でした。また、その日は本校開校記念日でもありました。

今から、73年前に新制中学校として開校した本校は、当初はこの中村の地ではなく、都立井草高校に間借りをして授業をはじめました。その後、昭和25年に校舎ができ、この地で授業を開始しました。以来、多くの場面で生徒の活躍があります。特に部活動での活躍は、毎年どの部活動においても東京都大会のみならず、関東・全国大会への出場する生徒たちがいます。

地域の方々からは、「以前から生徒の活躍はみられた。しかし、その分、だいぶ元気のよい生徒も多かった」というお話をいただきました。現在も、本校の生徒たちは、運動部・文化部ともに積極的に活動を行っていますが、日々の学習でも落ち着いた雰囲気の中で授業に取り組んでいます。昨年度の国や都の学力調査においては、都平均を上回る結果が出てきています。現在、本校の生徒たちの活動は、文武両道であると思います。

2023年から本格実施となる新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」が学習の中で大事な学び方となっています。実はそれが、様々な活動につながります。基本を身につけ、その先の段階までいくには、～自分で学ぶ・仲間と高め合って学ぶ～ことで一過性でない継続的な活動になっていきます。学習のみならず部活動等においても、生徒たちの自分からの取り組みが、活動への理解や技能の向上につながります。

現在の本校の生徒の様子をみますと、そのような取り組みの基盤ができている生徒が多くいます。

先日の理科の顕微鏡の操作を学ぶ1年生の授業での生徒同士と教員の会話です。

生徒A「ツリガネムシだけ、どうしても見えないよ。Bくんの見せてよ」

生徒B「いいよー」

生徒A「そっか、こんな風に見えるのか。よっしや、やってみようっと！」

教師：「なかなか見えない場合、どうすればいい？ 倍率はどう？」

何気ない授業の取組風景の一コマですが、このような生徒自身の取組と教師から生徒への発問やアドバイスに工夫を加え、前述の取組をより充実させていくことが今年度の大きな取組の一つです。そして、それが、本校の教育目標にある、自律性・実践力・連帯感の育成につながっていきます。

今年度も昭和・平成・令和と3つの元号を経て続く、本校の歴史と伝統を進展させながら、次代を築ける生徒たちを育てて参ります。

これからの主な行事予定

5月18日(土)運動会

21日(火)運動会振休予備日(お弁当)

教育実習期間(始)

22日(水)眼科検診(全)

23日(木)耳鼻科(全) 熱中症予防講座(1年生)

24日(金)中央委員会

27日(月)心臓検診(1年生)

28日(火)歯科検診(3年生 2AB)

30日(木)進路説明会(3年生)

31日(金)尿検2次予備 一斉委員会

6月3日(月)全校朝礼 安全指導

3日(月)～8日(土)三者面談期間(1年生)

4日(火)歯科検診(1年生 2CD)

5日(水)練馬区学力調査(3年生)

6日(木)避難訓練

8日(土)～11日(火)学校公開期間

8日(土)生徒総会 教育実習終了



※部活動の活躍は、6月号に掲載させていただきます。

離任式の様子：代表生徒が、離任された先生方に感謝の言葉を伝えました。

